

国語科 学習の手引き（2年）

【教科のねらい】

目標

- 社会生活に必要な言語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【1年間の学習の流れ】

学年	第2学年	
月	○題材名・教材名	単元の主な到達目標
4	○見えないだけ（詩） ○アイスプラネット（読） ○問いを立てながら聞く（話・聞）	<ul style="list-style-type: none"> • 言葉に対する感覚を磨き、語彙を豊かにする。 • 人物どうしの関係や、それぞれの考え方を読み取る。 • 筋道が通っているかどうかを考えながら聞く。 • 理由立てて、自分の考えを述べる。
5	○枕草子（読・書） ○思考の視覚化 ○クマゼミ増加の原因を探る（読）	<ul style="list-style-type: none"> • 作者の四季に対するものの見方や感じ方に触れる。 • 考えを図に表して整理する力をつける。 • 文章の構成や展開について、理解を深める。 • 文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読む。
6	○熟語の構成 ○魅力的な提案をしよう（話・聞・書） ○単語をどう分ける？ ○メディアを比べよう（情） メディアの特徴を生かして情報を集めよう/「自分で考える時間」をもとう（情）	<ul style="list-style-type: none"> • 話の構成を工夫したり、資料などを使ったりしながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように話す。 • 品詞の働きや性質を理解する。 • 文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の効果について理解する。
7	○短歌に親しむ/短歌を味わう（読・書） ○言葉の力（読）	<ul style="list-style-type: none"> • 情景などを表す多様な語句に着目し、語感を磨く。 • 本や文章には、さまざまな考え方が書かれていることを知る。
8・9	○盆土産（読） ○字のない葉書（読） ○表現を工夫して書こう（手紙）（書） ○敬語	<ul style="list-style-type: none"> • 登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、作品に与える印象を考えたり、人柄や心情を読み取ったりする。 • 随筆の味わい方を知り、日常の読書に活かす。 • 文章の読み手の立場にたって、表現の効果などを確かめ、文章を整える。 • 敬語の働きについて理解する。
10	○モアイは語る ー地球の未来（読）	<ul style="list-style-type: none"> • 文章の構成に着目して、主張を捉える。 • ものの見方や考え方について自分の考えをも

	○根拠の適切さを考えて書こう（書） ○〔討論〕異なる立場から考える（話・聞）	つ。 • 意見を裏づけるための、適切な根拠のあり方について理解する。 • 異なる立場を尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる。
11	○立場を尊重して話し合おう（話・聞） ○月夜の浜辺（読） ○平家物語 扇の的/仁和寺にある法師（読）	• 立場を明確にして、適切な根拠とともに意見を述べる。 • 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 • 作品の特徴を生かし朗読し、古典の世界に親しむ。 • 古典の文章を朗読してその表現に慣れ、作品を読み味わう。
12	○漢詩の風景（読） ○君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ（読） ○書写 書きぞめ（硬筆・毛筆）	• 漢詩を朗読し、独特の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。 • 観点を明確にして文章を比較する。 • 具体と抽象の関係を理解する。 • 筆脈を意識し、行書の特徴を捉えて文字を書くことができる。
1	○走る。走らない。走ろうよ。 ○走れメロス（読）	• 品詞の働きや性質を理解する。 • 抽象的な概念を表す語句が、作品に与える印象を考える。
2	○構成や展開を工夫して書こう（書） ○国語の学びを振り返ろう（話・聞）（書）	• これまでの学習を振り返り、文章の構成や展開について理解を深めるとともに、場面の展開が明確になるように、構成を工夫する。
3	○一字違いで大違い ○木（読）	• 品詞の働きや性質を理解する。 • 抽象的な概念を表す言葉などに着目して詩を読む。

【評価の観点と方法】

観点	主な評価の観点
① 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の活動や発言 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） 振り返り
② 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> テスト（定期、期末、技能） ※技能テスト：音読、スピーチ、書写作品等 授業中の活動や発言 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）
③ 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> テスト（定期、小テスト等） 活動の活動や発言 指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）

【授業を受ける時のポイント】

○授業前の準備

- ・教科書の音読や語句の意味調べを行いましょ。う。
- ・教科書に載っている単元の目標を確認しましょ。う。
- ・漢字テストに向け、繰り返し練習に取り組みましょ。う。

○授業

- ・課題や話し合いに集中して取り組み、言葉に対する理解を深めましょ。う。
- ・自分の考えをいろいろな人と交流して、視野を広げましょ。う。
- ・話を聞いてメモを取る習慣をつけましょ。う。
- ・根拠を示して答えられるようにしましょ。う。

○復習

- ・ノートやプリントの整理を通して、授業を振り返りましょ。う。
- ・「ワークブック」に繰り返し取り組み、問題に慣れましょ。う。

【使用教材・補助教材】

教科書	中学校国語 2 (光村図書)
補助教材	よくわかる国語の学習 2 (明治図書) 最新国語資料集 (明治図書)
その他	ノート プリントをまとめるファイル 国語辞典 (必要に応じて)